

競技上の注意

第65回大阪国際招待卓球選手権（全国オープン）広島県予選

審判長 中元孝司

1. 適用ルールについて

- ・本大会は現行の日本卓球ルールを適用する。
- ・本大会は全て5ゲームズマッチで行う。
- ・本大会ではタイムアウト制は採用しない。
- ・促進ルールは適用しますので、予想される場合は審判長に連絡ください。
- ・同じチームの選手が同じリーグに入った場合はその選手同士の試合を先に行なう。

2. 競技領域への立ち入り制限とアドバイザー

- ・目卓登録している1名がベンチにアドバイザーとして入ることができる。
アドバイザーは1マッチ毎1名で途中交代はできない。
- ・1人のアドバイザーが同時に複数の選手のアドバイザーを兼務することはできる。
その場合、アドバイザーが移動し、選手はコートを離れてはいけない。

3. 用具について

- ・ボールはJTTA公認プラスチック球(ニッタク 3スタープレミアムクリーン)を使用する。
- ・外国製ラケットでJTTAAの刻印のないものを使用する場合は、あらかじめ審判長に使用許可を受けること。

4. ラケット検査について

- ・いくつかの試合についてマッチの前にラケット検査を行う。違反と判断されたラケットは大会終了まで審判長が保管する。

5. 服装について

- ・ゼッケンは2025年度の日本卓球協会指定のものを着用すること。
- ・ダブルスのユニフォームは揃えること。

6. 審判について

- ・リーグは同じリーグの試合のない選手が担当する。
- ・トーナメントの第1試合は本部から指名しますので、協力ください。
その後は敗者審判とします。

7. 表彰について

- ・本大会は予選なので表彰はありません。
- ・本大会出場権を得た選手は、県HP予選結果に手続き方法を掲載しますのでそれに従い手続きをしてください。

以上